

柔らかで暖かい日差しが差し込む春の佳き日、羽後町長 佐々木康寛さまをはじめ、たくさんのご来賓の皆さま、そして保護者の皆さまにご臨席いただき、令和八年度 西馬音内小学校 入学式を挙行できますことを心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

三十三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さん、よい姿勢でとても立派ですね。キラッキラツとした目と心がとても素敵です。

西馬音内小学校の先生たち、そして、2年生から6年生までのお兄さん、お姉さんたちは、皆さんが入学してくるのを心待ちにしていました。西馬音内小学校では、勉強や運動をするだけでなく、上級生と一緒にやる楽しい活動もたくさんありますから、楽しみにしててください。

さて、私からは一年生になった皆さんに、心の中に育ててほしい三本の木のお話をします。

まず、一本目は「やる気」という木です。すべてはやる気から始まります。「やってみよう。きっとできる」という気持ち大切です。みなさんの「やる気」を楽しみにしています。

二本目は、「本気」という木です。本気で一生懸命取り組んでいくと、必ず自分の力になります。たとえ失敗しても大丈夫。本気で頑張っていれば、まわりのお友達や先生がきっと応援してくれます。

そして、三本目が「元気」という木です。これからどんどん体が大きく成長していくときです。元気はすべてのもと。心も体も元気に頑張ってください。

この三本の木を育てるために、先生たち、上級生のお兄さん、お姉さん、そして西馬音内小学校のお友達、「にしもん」と「ぼおんさん」も応援していきます。ぐんぐんと大きくなるように育てていきましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

西馬音内小学校では、お子様の健やかな成長を目指して、心のこもった温かい教育を進めてまいります。保護者の皆様と学校との理解と、信頼関係の中で、お子様のよりよい成長をサポートしていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、一年生の皆さん、明日の朝から、「おはようございます」と元気に学校にきてくださいね。待っています。

子どもたちが、健やかに、たくましく育つことを心より願い、私の式辞といたします。

令和八年四月七日

羽後町立西馬音内小学校長 高橋 一枝

